

請願第 2 号

小中学校給食の無償化等を求める請願

【請願趣旨】

新型コロナウイルス感染症が 3 年目となり、また円高等による物価高騰で生活が大変になっています。しかしそれに見合って給料は上がらず、解雇や仕事が減るなどの状況も少なくありません。その影響をうける子育て世帯への支援が今切実に求められています。

また格差と貧困が広がり、食事・栄養が充分取れず「まともな食事は給食で」まかなう世帯があるなど、かつてないほど学校給食の果たす役割は重要になっています。

「義務教育は、これを無償とする」（憲法第 26 条）の原則に照らせば、学校給食は「学校教育の一環」であり（文部科学省「食に関する指導の手引き」2009 年）、「学校教育における食育の推進を図る」目的（学校給食法）があり、当然無償化されるべきものです。文科省の調査では全国 4 分の 1 の市町村で、少子化や子育て支援を目的に、給食費の引き下げや無償化が実施されています。東三河では、豊根村が令和 2 年度から学校給食の無償化を完全実施しています。豊橋市・蒲郡市・設楽町では期間を決めて無償化を実施しています。新城市も学校給食への補助を実施しています。

また豊川市が期限付きで実施されている保育園等の給食費の無償化の継続、子どもの医療費の高校卒業まで通院も無料化（愛知県下市町村の 37% が実施・実施予定）は、子育て支援の重要な柱です。豊川市として以下実施されますことを求め、請願致します。

【請願項目】

1. 豊川市の小中学校の給食費を無償にしてください